

平成 20 年度京丹後市指定文化財の指定について

京丹後市指定文化財として、①八幡神社ムクロジ ②生王部神社スダジイ ③迎接寺跡シイ（ツブラジイ） ④霧の宮神社八岐杉 ⑤峰山陣屋跡エノキ ⑥雲松寺跡タラヨウの 6 件を新たに京丹後市指定文化財に指定しました。

平成 20 年 7 月 8 日

京丹後市市役所

京丹後市文化財保護条例の規定に基づき、京丹後市文化財保護審議会の答申を受けて京丹後市教育委員会で議決されました。これにより、新たに 6 件の京丹後市指定文化財が加わるとともに、「琴引浜」の国指定に伴い、2 件の市指定文化財が解除され、合計で、国指定・府指定を合わせて 169 件となりました。

（国指定文化財 16 件、国登録文化財 5 件、府指定文化財 35 件、府登録文化財 18 件市指定文化財 95 件の合計 169 件）

1 八幡神社ムクロジ

名 称	<small>はちまんじんじや</small> 八幡神社ムクロジ
所 有	八幡神社
員 数	1 本
文化財種別	天然記念物

八幡神社は、創立時期は不詳であるが、天保 12 年（1842 年）の『丹哥府志』に記されている古社である。ムクロジは中国から入って神社や寺に植栽されたものが野生化したといわれ、「八幡神社ムクロジ」は樹齢 400 年程度と推測され、全国トップクラスの大きさである。

1 生王部神社スダジイ

名 称	<small>いくおうべじんじや</small> 生王部神社スダジイ
所 有	生王部神社
員 数	1 本
文化財種別	天然記念物

「生王部神社スダジイ」は樹齢 300 年以上と推定され、神木として歴代保護されてきたものと思われる。平成 3 年に京都の自然 200 選、網野町ふるさと自慢 100 選にも選定されている京丹後市内最大のシイノキである。

1 迎接寺跡シイ（ツブラジイ）

名 称	迎接寺跡シイ（ツブラジイ）
所 有	京都府
員 数	1 本
文化財種別	天然記念物

迎接寺は熊野郡誌にその記述が見られ、かつては中世山林寺院として隆盛を極めた。「迎接寺跡シイ（ツブラジイ）」は、樹齢 300 年程度と推測され、ツブラジイとしては京丹後市内最大のものである。

1 霧の宮神社八岐杉

名 称	霧の宮神社八岐杉
所 有	霧の宮神社
員 数	1 本
文化財種別	天然記念物

「霧の宮神社八岐杉」は境内地に植樹されたものと考えられ、樹齢は 300 年～350 年と推定される。まっすぐに伸びた幹が途中から 8 本立ちになるという特異な樹形が最大の特徴である。平成 3 年に大宮町の名木 30 戦に選ばれている。

1 峰山陣屋跡エノキ

名 称	峰山陣屋跡エノキ
所 有	京丹後市
員 数	1 本
文化財種別	天然記念物

峰山陣屋は、峰山郷土史によると元和 8 年（1622 年）吉原城のふもとに整備されたという記述が残る。「峰山陣屋跡エノキ」は、樹冠投影面積が 1000 m²にもおよび、その枝ぶりが最大の特徴である。樹齢は 250 年～300 年と推定される。

1 雲松寺跡タラヨウ

名 称	雲松寺跡タラヨウ
所 有	報徳一心社
員 数	1 本
文化財種別	天然記念物

雲松寺は熊野郡誌による寛永 5 年（1629 年）に伽藍を建立したとの記述が残る。タラヨウは葉の裏に尖ったもので字を書くとやがて黒く浮き上がることから葉書の木、手紙の木とも呼ばれる。「雲松寺跡タラヨウ」は樹齢 200 年以上と推定され、全国巨木ランキングでも上位に入る。